

笑ってごらん

第 521 号 H. 27. 9. 2 発行

～今日のことば～

達成するまで、それは不可能に見える。

南アフリカ第 8 代大統領 ネルソン・マンデラ



◇◆さあ、2 学期が始まった。卒業学年にとっては進路確定に向けたとても大切な学期となる。名実共に「充実の学期」としなくてはならない。学校行事の多い学期でもあるので、互いに『思いやり・支え合い・協力』の気持ちを持って日々を過ごして欲しい。 ◆何に対しても同様であるが、十分な情報共有の段階も経ないまま、「どうしてやってくれなかったの?」「これは私がすることじゃないから…」といったような独りよがりな言動は互いの信頼感に大きな溝を築くことになる。結構相互の情報伝達の不十分さから人間関係の不具合に発展しているケースも少なくない。



『物事は準備 8 割』と言われている。互いに気持ちよく過ごすためにも、自分ができることは率先して取り組み、常に意見交換は十分に行うよう心がけよう。 ◆早速体育大会の準備が本格化していくことになるが、既に専門課程応援団は早くから練習を始めている（成果に期待）。2 日から練習も始まるが、毎日睡眠をたっぷりとして身体を休め、朝食をきちんと摂ること（もちろん水分補給も）が熱中症対策の秘訣でもある。 ◇◆この夏休み期間、TV ではスポーツ番組花盛りであった。高校野球ではオコエ瑠偉選手・清宮幸太郎選手の活躍が注目され、番組内に特別枠のコーナーが設けられるほど。オコエ選手の足の速さは群を抜いているし、清宮選手の打撃はまだ 1 年生ながらものすごい。そして他にも、世界陸上・ワールドカップバレー、そして世界柔道もあった。8 月末は世界陸上とワールドカップバレーの放送が重なっていたので、私はチャンネルを切り替えながら観る始末であった。バレーでは 19 歳古賀選手やリオ五輪を最期とする宣言をした木村選手の活躍が光り、世界陸上では日本のサニブラウン選手を始めジャマイカのボルト選手の速さに目を奪われ、世界柔道では松本選手・大野選手の金メダルを喜び…と、大変忙しかった。 ◆そんな中で得たネタではあるが、オコエ瑠偉選手には 1 つ年下の桃仁花さんという妹がいる。瑠偉君の身長が 183cm、桃仁花さんが 181cm らしい。バスケットボール部に所属し、その技術も超高校級の呼び声高く、今季インターハイベスト 4 だったようだ。また、女子バレー日本チーム入り確実と言われている高校生が宮部藍梨選手。最高到達点 306cm のジャンプ力を持つとのこと。今季インターハイで在籍校は初優勝した。オコエ兄妹のお父さんも宮部選手のお父さんも共にナイジェリア人。TV でコメンテーターが熱く興奮してのたまっていたが、アフリカの人たちの身体能力は抜きんでている。その DNA を受け継いでいる彼らには十分にベースが備わっているであろう。スポーツ観戦好きの私としては、これから、このようなハーフ選手の活躍も期待したい。 ~~~~~

感謝道

◇◆高校始業式でも話したことであるが、こんな清々しい取り組みが報じられ、ネット上で話題となった。高校野球準々決勝、九州国際大学附属高校 VS 早稲田実業高校。試合当日は雨で応援席はビショビショであった。試合前、まだ客の入りの少ない応援席で九国大附属高校の部員が全員で応援席ベンチを拭いた。試合は 1 対 8 で負けたものの、「自分たちの応援に来て下さる方々のために何かできることはないか」ということを考え、全員で実行に移した、その姿勢に私自身感動を覚えた。甲子園でベスト 8 に入るほどの活躍の背景には並々な努力があることは明白。だが、日頃のひたむきな努力に加え、「いま好きな活動ができているのは周囲の方々のお陰」という感謝の気持ちを持ち続けること、日頃の過ごし方から気をつけていること、そして、これまでの厳しい練習や数々の練習試合などの経験をもとに強い精神力を身に付けてきていることがうかがえる。